

株式会社 農業総合研究所

「農家の直売所」事業でITを活用した効率的な出荷配送システムの確立

農業経営を促進する物流と情報のプラットフォームを提供



補助事業

農産物を“顔の見える形”で消費者に届ける物流 出荷量を増やして競争力に弾みと市場開拓を目指す

農産物の流通を通じて、日本だけでなく世界の農業が恒久的に継続する仕組みを構築する「農業総合研究所」。その一つとして事業展開している「農家の直売所」は、全国の生産者と提携し、同社集荷場に集まった新鮮な農産物を、大阪や東京といった都市部のスーパーマーケットなどに、インショップ形式の直売所を設けて委託販売するプラットフォームを提供している。生産者が農産物を規格にとらわれず自由に生産し、自ら販売価格や販売先を決めて出荷することにより、出荷による所得の拡大や、こだわりの農産物を“顔の見える形”で消費者に届ける物流を実現している。

その中で課題となっていたのが集荷量の確保。集荷場へは生産者の直接持ち込みとなるため、それに要する手間や時間、コスト、さらに相場情報や在庫状況の確認、

バーコードの打ち出しなども集荷場でしか行えず、決して利便性や満足度の高いものではなかった。それらの問題を解決するために開発・導入したのが、ITを活用した効率的な「出荷配送システム」である。

同システムは自宅のタブレット端末やパソコン等から、生産者自身の売上データや販売先・商品相場など、出荷に関する情報が簡単に取得できるというもの。さらに、バーコード発券機を購入すれば、集荷場に持ち込めない生産者でもバーコードを商品に貼付し、全国のスーパーに出荷できる仕組みを構築。よりダイレクトな物流と情報のプラットフォームを提供することで、スピーディーに出荷を行い、時間やコストを削減。流通の観点から効率的な農業経営の後押しを図り、集荷量の拡大につなげた。

成果

流通情報を蓄積して数値を“見える化” データを活用して計画的な農業経営を促進

テスト運用を経て、2017年夏頃から本格に始動。生産者は自宅や所在地にいながら、好きな時間にどこからでも気軽に出荷準備を行い、集荷場での作業時間を大幅に削減した。さらに農業経営を後押しする同システムのメリットとして、毎日蓄積される販売データの利活用が挙げられる。売上高や出荷額などの農業経営に必要な数値を“見える化”することで、産地にいながらにして売れ筋の比較・検討が可能になり、データを活用した計画的な農業経営を促進している。



今後の展開

継続的な運用のためのコンテンツづくり 双方向の情報共有で新たな付加価値を創出

利用者の拡大はもちろん、継続的な運用のためのコンテンツづくりにも尽力。現在、登録生産者専用の農業資材販売サイトのほか、生産者と消費者をつなげるシステムも構築。生産者と小売店および消費者の双方向的な情報共有を可能にすることで、生産者にとっては新たな所得を、小売店や消費者にとってはこれまで市場に乗らなかった農産物を選ぶ楽しみを創出している。スーパーだけでなく外食産業とも自由に取り引きができるシステム開発にも乗り出し、2018年秋頃から外食向け会員制青果物EC「彩直」を開始。食の安全・安心につながるトレーサビリティの機能も開発・提供しており、今後さらに、新たな付加価値にも期待が寄せられている。



時代に合致した農産物流通で 未来永劫持続する仕組みの構築

農業をクリエイティブにグランドデザインする会社として、平成19年10月に株式会社 農業総合研究所を設立。「Passion for Agriculture ～農業に情熱を～」を合言葉に、未来永劫農業が持続する仕組みを構築。ビジネスとして農業の未来を見据え、時代に合致した流通を提供しつつ、新しいものを創造し、挑戦し続ける農産業創造ベンチャー企業を目指す。



代表取締役社長
及川 智正



株式会社 農業総合研究所

代表者／代表取締役社長 及川 智正 〒640-8341和歌山市黒田17-4シャンドフルーレ2階
設立／平成19年 TEL.073-497-7077 FAX. 073-497-7013
資本金／212百万円 URL.https://www.nousouken.co.jp
従業員／165名(2018年10月末現在) Mail:info@nousouken.co.jp
事業内容／「農家の直売所」事業
(委託販売システム・買取委託販売・卸販売)